

まちのわだい

まちのわだい

TOPICS

▶ 買い物を楽しむ来場者



3/14
3/15

第46回 日光ふるさとまつり

日光ふるさとまつりが3月14日(土)から15日(日)に、日光公民館で開催されました。地域住民の親睦を図ることを目的に行われるこのまつりは、今回で46回目の開催であり、2日間で350人以上が来場しました。会場では、日光地区で活動している人々の作品展示や即売会、eスポーツ体験、健康チェックなどが行われ、来場者は和気あいあいとした雰囲気の中で会話や交流を楽しみました。約200食準備していた日光そばは、好評につき12時間には早々に完売。来場者からは「美味しかった」「久しぶりにみんなと話せてよかった」などの声が聞かれ、笑顔あふれるひとときとなりました。

▶ 親子でトレーニングに挑戦



3/14
3/15

スポーツパフォーマン 向上講座「かけっこ教室」

町内の4歳以上の子どもたちを対象に3月14日(土)、溝口町民体育館と岸本町民体育館にて、すべての運動の基礎となる走力向上を目指して「かけっこ教室」が開催されました。当日、かけっこが速くなりたい子どもたちや保護者など約140人が参加し、地面を強く蹴って走ることを意識すること、前傾姿勢をつくることや腕をしっかり振ることなど速く走るための手法を学びました。講師のパーソナルトレーナー 酒井康多氏は「ユーモラスな身振り手振りでわかりやすく、飽きさせない指導を行い、参加者からは継続的な開催を希望する声がありました。」

▶ 多くの人でにぎわいました



3/22
3/23

溝口春の彼岸市

溝口春の彼岸市が3月22日(日)、伯耆溝口駅前広場で開催されました。このイベントは大正14年にスタートし、今回で100周年をむかえる歴史あるイベントです。駅前広場に設けられた特設ステージでは、鬼面太鼓や傘踊り、溝口中学校生徒のダンスパフォーマンスなどさまざまな演目が披露され、会場を大いに盛り上げました。また、駅前広場から溝口分庁舎前まで多くの露店が並び、来場者は買い物や食べ歩きを楽しみながら会場全体のにぎわいを満喫しました。

▶ 受賞者のみなさん(前列・後列右)



3/27
3/28

日本海新聞 ふるさと大賞2025

「日本海新聞ふるさと大賞2025」伯耆町の部表彰式が3月27日(金)、伯耆町役場にて行われ、地域貢献賞1団体、スポーツ文化功労賞1人が表彰されました。地域貢献賞では、食を通じて地域の健康づくりを推進するボランティア団体「食育サークル食楽々」、スポーツ文化功労賞では、東京デフリンピックで5000m5位入賞、10000m10位と活躍した佐々木昂さんが受賞。受賞をうけ食育サークル食楽々の会長勝部さんは「生産者の顔が見える安心した食材を使い、今後も健やかで活気ある生活ができるよう楽しく活動していきたい」と話しました。

※佐々木昂さんは当日欠席のため、父義明さんが代理出席